



4/3 消防団協力事業所の認定を受けました

花屋のすすき（鈴木勝己代表取締役、写真中央）が消防団協力事業所の認定を受け、役場で表示証が手渡されました。同表示証は消防団員が2人以上在籍し、消防団活動の支援や入団促進活動に積極的な事業所に交付されるもので、鈴木さんは標茶消防団副団長を務めるなど、積極的に消防団活動を行っています。



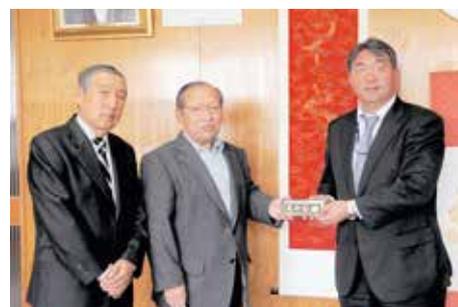
4/4 自治会連合会の総会が開催されました

標茶町自治会連合会総会が開催されました。今年度は「安心安全に暮らし続けるための絆づくり」を推進目標に掲げ、研修会の開催や社会を明るくする運動への参加などの取り組みを進める事を確認しました。役員改選では川上町内会長の千葉誠治さんが会長に選出されました。千葉さんは「町内会やまちづくりの課題は山積みだが、これまでの経験を活かし、安心安全な町内会づくりを目指したい」と話しました。前任の山澤嘉禮さんは平成16年から会長を務め、町内会活動の発展にご尽力されました。



4/6 児童の登校を見守りました

本町と弟子屈警察署（佐藤隆幸署長）は、標茶小学校正門前で街頭啓発を行い、登校する児童らに交通安全を呼びかけました。また同警察署と「防災、安全・安心地域活動キャラ協定」を結んでいるミルクックさんも街頭啓発に参加し、旗を振りながら交通安全を呼びかけました。



3/21 五十石橋銘板筆耕者へレプリカを贈呈

国道391号の五十石橋の架け替え工事に伴い、新橋の橋名板を筆耕した河合一行さん（写真中央）へ釧路開発建設部弟子屈道路事務所の渡辺英所長（写真右）から橋名板のレプリカが贈呈されました。河合さんは書道歴40年で、町内で書道教室を開いています。



3/29 郵便局と町の見守り協定が結ばれました

日本郵便と本町は地域における協力に関する協定を結び、その調印式が行われました。この協定は町民が安心して本町に住み続けられるよう、郵便局員が業務中に高齢者や子どもの異変を発見した場合や道路の異常・異変がある場合、不法投棄を発見した時に、町に連絡するものです。



町内在住のカメラ愛好者の方へ

町内で行われたイベントや明るい話題など、何でも結構ですので、写真の投稿をお待ちしております。

役場企画財政課地域振興係
「投稿写真コーナー」

ありがとうございます

3/30



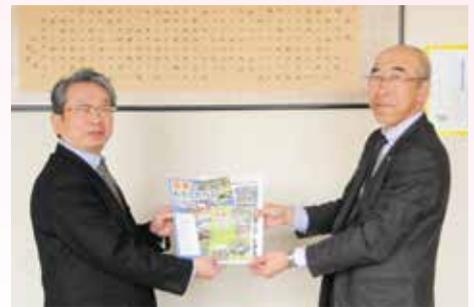
新入生の交通安全を願って、標茶町商工会女性部(山本和江部長、写真左から2番目)が「愛の鈴」を、加茂スミ子さん(茶安別)が「豆わらじ」をそれぞれ町に寄贈してくださいました。山本部長は「鈴を鳴らしながら子どもたちが元気に通学している姿を見ると、嬉しくなります」と話していました。寄贈していただいた鈴とわらじは、町内の小学校の入学式で新1年生に手渡されました。

3/9



多田塗装工業(多田征人代表取締役)の皆さんが地域貢献活動として、標茶小学校職員玄関前に身障者用駐車マークを施工してくださいました。

3/21



標茶町農業協同組合(高取剛代表理事組合長)が、補助教材「農業とわたしたちの暮らし」を寄贈してくださいました。教材は各小学校に配布され、小学校5年生の授業で活用されます。

4/6



標茶ライオンズクラブ、町社会福祉協議会、町交通安全運動推進協議会、町交通安全協会、釧路地区交通安全推進協議会から、新1年生へ手提げ袋やランドセルカバー、スケッチブック、交通安全リーフ、防犯ブザーなどの新入生交通安全啓発記念品が配られました。記念品を受け取った新1年生たちは、これから始まる学校生活に目を輝かせていました。

3/23



太平洋設備(小茄子川充代表取締役、釧路市)が、設立50周年を記念して図書カードを寄贈してくださいました。

4/7



桜祐二歌謡学園グループ標茶支部(江口サチ子支部長、写真左から3番目)と同学園を主催する桜祐二代表(写真左から2番目)は役場を訪れ、4月2日に開催した第17回「夢21しべちゃ歌謡祭」の収益金の一部を町に寄附してくださいました。

3/24



住友建設(住友悟代表取締役)の皆さんが地域貢献活動として、多和平展望台とグリーンヒル多和周辺の除排雪をしてくださいました。